

## 汐の宮温泉病院

(平成 23 年 7 月 12 日訪問)

平均在院日数 213.3 日(平成 23 年 7 月 1 日現在)

### 病院全体

#### 外出

開放病棟では午前 7 時 20 分から午後 7 時 20 分(冬期は午後 6 時 30 分)までは鍵が開いている。閉鎖病棟では出入口の横に名札ボードがあり、院内外出する患者は名札を移動させてから出ている。院外外出は詰所で外出ノートに記帳する。全体としては中庭や自動販売機、売店、入浴などの院内外出が多いようだった。午前 10 時から午後 4 時の間は、看護補助者 2~3 名が鍵の開閉のために出入口のそばに立っていた。

#### 金銭管理費・洗濯代等

金銭管理費は預けている額によって料金が違う。預ける額が 2 万円までの場合は管理料が 1,000 円/月、5 万円までは 2,000 円/月、10 万円までは 3,000 円/月、10 万円以上は 5,000 円/月。貸しロッカーは 1,000 円/月。

病院に洗濯してもらう場合は 1 点 30 円。救急病棟には洗濯機(1 回 100 円)だけで、乾燥機はなく、外で干すか部屋干しをする。本館 4 階では洗濯機(1 回 100 円)と乾燥機(30 分 100 円)があった。

#### 入浴

開放処遇の患者は中庭にある温泉施設パムッカレ(日祝以外は毎日入浴できる)に行く。閉鎖処遇の患者は病棟の浴室を使う(週 3 回)。職員に言うどドライヤーを貸し出してくれるそうだ。使用できるのは女性洗面所で午前 9 時から午後 4 時までの間。

#### 売店

品数は多く、シャンプー 462 円、ボディソープ 550mm 472 円、文房具、パン、洋服など。「<死にざま>の医学」(永田勝太郎著者 海竜社)が売られていた。以前勤務していた医師の著書とのことだった。中庭にいた患者から「売店ではイヤホンや箸やゴミ箱など、『ダイソー(100 円均一の店)』で 100 円で買ったものを 210 円で売っている。『ダイソー』と印字された上に 210 円のシールが貼られている。外出できない時は売店で買うしかないのにおかしいのではないか?」との声があり、病院側に尋ねると、「確認して改善します」とのことだった。

### 前回の訪問(平成 20 年 3 月)から改善されていたこと

- ・ 病室のベッド周りにカーテンが付き、新館の個室にある廊下側の窓は曇りガラスになっていた。本館 4 階はトイレの窓ガラスの部分に掲示物が貼られ、詰所からトイレの中が見えるという状況は改善されていた。
- ・ 薬は職員が病室に持って来るようになっていた。
- ・ 前回は、看護補助者等として働いている職員から引継ぎや研修がなくて不安との声があったが、今回はなかった。仕事に就いて「約 10 年」「約 5 年」という答えもあり、経験の長い方が増えている様子だった。

### 病棟の様子

#### 病室

本館、救急病棟では 5~6 人部屋が多かった。ベッド周りにはカーテンが設置されていた。部屋の真ん中にテーブルがあり、そこで食事をとるとのことだった。ベッドの下に 1~2 個の衣装ケースがあり、それで足りない場合は 200 円/月で倉庫に保管してもらえる。力の強い患者がテーブルに荷物を広げていて、そのために「ベッドの上に荷物を置かない」と言う患者もいた。ベッドの上が狭く、寝づらそうになっていた。新館は個室(差額ベッド代 1,000 円/日)が多かった。

#### 電話

救急病棟では詰所前、本館 4 階ではエレベーター前に置かれていた。困いなどはなかった。

全ての病棟の公衆電話の番号が掲示され、直接かけられる。救急病棟では外からかかってきた電話を職員が詰所から手を伸ばしてとり、放送で患者を呼んでいた。携帯電話の持込は本館 1 階と新館では可能、他の病棟では詰所に預け、病棟の外で使う。

#### 掲示物

作業療法の案内表、入院費用、給食費、保険外費用、ワーカーの付添費用、個人情報保護、職員の心得、断酒会開催予定(関東地方などのものもあった)など多くの掲示物があった。その他、服薬は午後 9 時までで遅くなる時は理由を述べるように、刺青をしている患者は、長袖着用のこと(ただし風呂は可)、外出時は「犯罪行為(自転車窃盗など)」「ラブ行為」は禁止等の掲示もあった。救急病棟には、ぼちぼちクラブハウスの「ピアサポートってなあに講座」や人権センターについての掲示物もあった。新型インフルエンザのことと外出および外泊は控えるようにと書かれていた 2 年前の掲示物が貼られたままだった。

## 救急病棟 閉鎖 男女 急性期治療 60 床

喫煙室内が詰所から丸見えだったことについて、病院側は検討するとのことだった。トイレはウォシュレットだった。隔離室は7室。日中開放1名、30分間開放1名、空床1床以外は入室中だった。救急車から診察室を通らず、そのまま入れる隔離室が2室増えていた。室内から時計やカレンダーを見ることができない造りだった。ナースコールはないが、最低でも1人の看護補助者が隔離室担当として3交代で張り付くことになっていた。担当の看護補助者は抑制されている患者への「モーニングケア(顔を拭いたり歯磨きをする介助)」等、入室している患者の身の回りのこと全般についてサポートをしているようだった。

## 本館4階 閉鎖 男性 精神一般 15:1 60 床

本館3階と4階の男性閉鎖病棟について「以前はアルコール依存症の患者が多かったが今はそうでもない、3階の方は高齢の方が多い」との説明だ。病棟にエプロン姿の男性が何名かいたが、看護補助者だった。午前9時から午後5時は4~5名、午後5時から午前1時、午前1時から午前9時はそれぞれ1名ずついるようだ。薬の処方についての書類などを運んだりもする。退院した人がトイレ掃除に来ていた。馴れた様子でてきぱきとしていた。看護師がエプロンしているのは、失禁する患者が多いため、すぐに換えられるようにしているとのことだった。

トイレは個室の扉の高さが150cm位でその上があいているので上からのぞける。

デイルームにはテレビを見る人、マージャンをする人等10名以上がいた。誤飲があるということで何人かの高齢の患者はデイルームでおやつを食べていた。食べ終わると菓子が入っていた紙皿と患者自身が洗ったコップを職員に渡していた。職員は同じキッチンペーパーで何人分もの紙皿とコップの水滴を拭いていた。コップを洗うのはリハビリも兼ねているとのことだった。

## 患者の声

### 救急病棟

「職員が見張ってしてくれるから、男女混合の病棟でも安心して眠れる」「入院してよかった。入ってなかったら、なんぼでも酒を飲んでしまう」「手元にお金がないから電話できない。お金を送ってこない。外出したいが外出できない」「週1回、診察日は決まっている」「エプロンをつけた人が、カルテを開いて、隔離室の所で書き込みをしていた。あれっていいのかな。プライバシーや個人情報、守られているの不安だ」「4人がかりでくられた。起きたら眠剤飲ま

されて…の繰り返しで、言葉がうまくしゃべれないし、腰も痛い。ずっとくられていた間中おむつだった。よその病院に移りたいと言っても主治医にあかんと言われた」「自分の要望を言っても無視される、答えてくれる人もいない」「傍からは大人しくしていた方が楽やと言われる」「今度暴れたら向こうの部屋へ入れると言われている」「煙草を吸う時間が勝手に決められている」「目安箱ってどこにあるのか知らない」「お金を下ろしに行きたいのにケースワーカーに駄目だと言われる。理由は教えてくれない」「通帳を勝手にとられた」「週に1回詰所で診察がある」「色々助けてもらってはいるが、職員の言葉遣いとか不快」「ヘルパーの話を主治医に出したら、あんたは使えない、ヘルパーはもっと不自由な人のためにあると言われた。だから退院できない」「6人部屋にテーブルがあって食事はそこで食べている。運んで来てくれる」「夜中に叫んだりする人がいたが慣れた。最初は叫んだりする声を聞いて怖かった」「縛られて起きたら薬で眠らされてという姿を見ていたら不安だとみんな言っている」「病状がある程度落ち着いてくると、学歴や生育歴、家族歴など全て聞いてくる。ものすごく時間がかかりしんどい。家族に病気の人がいないかなど聞かれた」「夜中に煙草1本しか吸えないのはつらい」「救急病棟のエアコンの温度設定26度、新館の温度設定28度。夜中にクーラーが切られることがあるので暑くて目が覚めることがある」「煙草は病状により本数が違う。喫煙時間は本数ごとに決まっている」「1ヶ月程援護寮から病院に通ってアルバイトをしていた。洗濯物をたたんでいた。最低賃金だった8,000円を超えることはない。おもしろなかった」「元入院患者が結構働いている。働くことを医者に勧められる」「働かないか、資格をとらないかと言われた」「薬は病室のテーブルに置かれる」

### 新館3階

「コンセント2個で月600円、ドライヤー持ち込みOKだが、持ち込むと1回10円」「新館2階は、1日1,000円かかるが、エアコン、洗面台がついている。夜はエアコンが切られる。詰所にいちいち頼むのがしんどい。暑くて眠れない」「1時間おきに、人数確認と電灯をチェックし、本読みたくても『昼間やから』と電気を消される。窓を開けて光を入れるように強要される。夜はクーラーを切られる。暑くて目が覚めると、ムアーンとしている室内。文句は言えないがおかしいと思う。職員は『窓や扉を全開にしといて廊下の風をいれて』と言うが寝る時に全開は落着けない」

### 本館4階

「何年も入院している。病気だし、ずっとここにいるしかないのだと思っている」「職員はよくがんばってくれている。感謝している」「食事がまずい。メニュー

は栄養士が来て希望を聞いてくれる。お金は自分で管理してる。『夢ちよ』(病院独自の貯金システム)はしていない。院内の売店は高い」「アルコール依存症で入院している。20年以上は飲んでいない。退院したいけど、足のふらつきがあるので先生が退院許可してくれない」「ジュースを買いに行く。病院のお茶は薄くてまずいから。それにいちいち詰所に言わないともらえない。買いに行く方がまし」「手元にお金がなく、電話するにも10円ずつもらうしかない」

## 中庭

「以前、1ヶ月病院でバイトしていた。寮に入っている人が最低賃金とかで働いている。院長が資格を取るようにすすめてくる」「退院を考えだすと『ここで働かへんか。資格取らへんか。はじめはバイトから』と言われ、寮に移った。どれだけ仕事しても、月8,000円と決まっていた。資格を取る研修には行かせてもらえなかった。入浴介助など、汗だくでごまかされた気分だ」「仕事をしたい、退院したいと願う患者の気持ちを病院はうまく利用している」(病院:リハビリ就労であり、廊下やトイレの掃除、洗濯物たたみ、売店、喫茶、テーブル拭き、職員寮の掃除、厨房、配膳、皿洗い、パソコン入力などがある。時間は仕事内容により違う。生活保護の関係で月8,000円までとなっている人もいれば、例えば皿洗いなどは8,000円以上もある。勤務時間帯はある程度本人の希望を考慮している。川西ハウス(法外施設)は20人弱、殆どの方が病院の仕事に入っている。仕事とデイケアの両方に行っている人もいる。デイケアだけに行っている人は数名。資格とはホームヘルパーのこと。当事者のピアヘルパーも入ってもらって内科療養を運営していこうと考えている。現在は外来の方1名が、内科療養病棟の介護に入っている。)

## 積極的な取組など

・患者からOTについて「漫画読んだり、ビーズを作ったり、さおり織りをしたりみんな好きなことをしている。様々なプログラムがあって楽しい」との声があった。  
・喫茶室を元入院患者らが中心となって運営している空気が穏やかだった。若い職員もいた。

## 検討していただきたい事項

### 職員研修について

患者から職員について、「患者を人間扱いない」「呼び捨てで職員に呼ばれる」「本館2階病棟は特に言葉遣いがひどい」「女性病棟の夜勤の男性職員の配慮が足りない。朝7時頃着替えているような時に、窓のシールの上の部分から覗きに来る。配慮にかける。窓のシール上10cmの空間部分も隠して欲しい。部屋に入る時はノックをして欲しい」等の声があ

った。病棟では隔離室の患者のことを「ぼけた人」「頭のいかれた人」と言う看護職員や、患者を「○○ちゃん」と呼ぶ看護職員がいた。

毎朝、職員としての心得を読み上げているとのことだったが、患者の権利、患者への接遇について、更に徹底した職員研修を行い、療養環境についても再点検をしていただきたい。

(病院:医療に携わる者として患者に対する一番大切な基本ができていないということであり、誠に恥ずかしい事であります。その点を真摯に受止めてこのレポートを全職員に読ませて、改めて職員の患者への対応について、徹底した職員研修をします。又、療養環境面についても改善します。)

### 救急病棟の隔離室について

患者から「隔離室が不潔だった。ベッドに前の人の髪の毛やシミが付いていた。寝るのが嫌だった。ゴキブリも3匹見た。掃除の仕方が雑。きれいなシーツで眠りたい」との声があった。清潔で落ち着いて療養できる環境にしていきたい。

救急病棟の隔離室の扉には、今年4月以降にその部屋に入った全ての患者の名前と排便の記録が貼られていた。周りに知られたくないことを貼り続けられていることは、患者にとっては苦痛なはずであり、この点については前回訪問時にもお伝えしたにもかかわらず3年以上も放置され続けていることは問題ではないだろうか。今回の訪問時の意見交換の際にも病院側は「患者毎に貼りかえるチェック表にするなど検討する」と回答しておられたが、今回は早急に改善をしていただきたい。

(病院:環境整備を十分に行い清潔な環境を提供できるよう努力します。又、扉の貼り紙の件ですが、早急に患者ごとのチェック表に変更いたしました。)

### 職員の仕事を患者がすることについて

新館3階について患者から「2日に1回、患者が掃除するルール(がある)」「ゴキブリがあちこちに出る。2日に1回患者で掃除して、少しはマシになった」との声があった。治療を提供する側と治療を受ける側の関係は、通常、後者の方が弱い立場に立たされるのが避けられず、特に精神科病院の閉鎖的処遇下においては、その側面が一層強まるから、このような関係の下では、患者は自由な判断で、院内作業に従事するか否かを選択できるような立場にはない。治療を受けるために入院している患者に、病院運営上欠くことができない作業を担わせることはやめ、それらの作業を担当する職員を配置すべきである。

(病院:新館の掃除の件ですが、救急病棟や閉鎖病棟とは異なり、開放病棟であり、ADLも自立の人がほとんどで、又退院も近い人が多く入院しておられ

ます。又、ほとんどの方は個室に入室されておられます。掃除や身の周りの整理整頓などは、退院されれば、ご自身でしていただく必要のない基本的な生活能力の1つです。よって当院の新館では、個室部分については、患者さんに声かけをして一緒に掃除をするようにしております。ただし強制はしておりませんし、体調が悪い方や出来ない方の場合は看護スタッフがしております。又、廊下やホール、トイレなど共用部分は清掃職員がやっております。)

#### 拘束中の患者の尊厳について

救急病棟の観察室ではカーテンが開いたままになっていたため、身体拘束されている患者が廊下から丸見えになっていた。これは人間としての誇り、尊厳をないがしろにしているのではないだろうか。職員がこうした環境に慣れてしまっていることに、危惧を覚えた。

(病院:患者のプライバシーの確保に欠けていました。人間としての誇り、尊厳を大切にしよう職員指導研修をします。)

#### 電話の設置場所について

救急病棟でも本館4階でも話所前や人通りの多いところに置かれ、困いなどはなかった。

(病院:病棟構造上、ボックスなどを設置することは困難と思われませんが、簡易ブースのような構造を検討したいと思います。)

#### 私物管理について

訪問をした救急病棟や本館の総室には床頭台がなかった。私物を置く場所がないためにベッドの上に置いている患者も多いようだった。安心して私物を置けるようにするためにも、全員のベッドサイドに床頭台を設置することの検討をお願いしたい。

(病院:病棟のスペース的な問題がありまして、床頭台が無い病室がありますが、今後も検討してまいります。)

#### 鉄格子について

鉄格子は入院患者に圧迫感と屈辱感を与え、また、精神科病院を象徴するものとして、これまで「鍵と鉄格子」という表現がしばしば用いられ、それが精神障害者に対する偏見を助長してきたことを考えると、その取り外しを検討していただきたい。

(病院:当院の格子は一般家庭と同じようなアルミ格子であります。ご指摘の意はよく理解しておりますが、安全確保、危険防止の観点からも取り外しが難しいと考えております。窓からの離院や飛び降り自殺などの危険性が高い為です。)

#### おたずね

- 「夢ちよ」の利用者は何名位でしょうか？(病院:利用者は H23.10.17 現在 44 名です。)
- 前回の訪問時、「夢ちよ」について、患者から預かった現金は封筒に入れて保管するのではなく、一人一人の通帳を作るなど外から見てわかりやすい仕組みにするよう検討をお願いしましたが、現在はどうなっているのでしょうか？(病院:一人一人ではありませんが、全体の通帳を作っていて、個人個人の残高の台帳で管理しています。)
- 通院患者や元入院患者が病院で働いていることについて、「リハビリ就労で生活保護の関係で月 8,000 円までとなっている方がいる」との説明だったのですが、どのような契約になっているのでしょうか？また、「寮で洗濯物たたみやご飯の配膳をして 1 日 600 円位もらっていた」という声があったのですが、どのような契約で働いておられるのでしょうか？(病院:当院での就労賃金はすべて最低賃金での契約になっています。生活保護の方に関しては、基本的に、その収入認定の上限 8,000 円に収まる就労時間内の就労で行っております。)
- 患者から「各部屋にテレビがあるが、地デジ化したら、工事費とチューナーで 5,000 円余りと言われた」との声があり、この点について訪問した際には「追って、確認します」とのことでしたが、事実関係はいかがだったでしょうか？(病院:その後変更し、業者による貸しTV方式にいたしました。1,000 円で 20 時間のTVカード方式となります。)

精神保健福祉資料より (平成 22. 6. 30 時点)  
323 名の入院者のうち統合失調症群が 225 名 (70%)、精神作用物質による精神及び行動障害が 46 名 (14%)、気分障害が 31 名 (10%)。  
入院形態は任意入院 284 名 (79%)、医療保護入院 39 名 (12%)。在院期間は 1 年未満が 104 名 (32%)、1 年以上 5 年未満が 104 名 (32%)、5 年以上 10 年未満が 62 名 (19%)、10 年以上 20 年未満が 38 名 (12%)、20 年以上が 15 名 (5%)。